

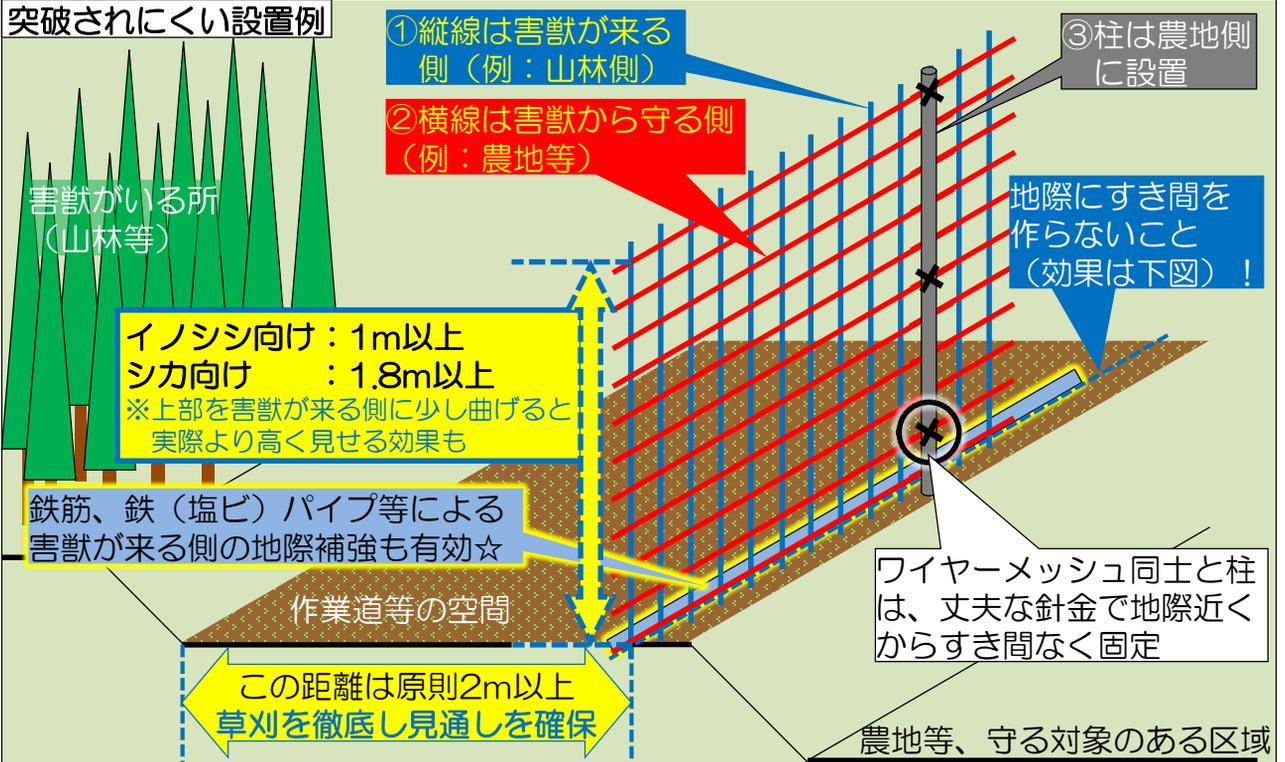
(手順どおりに設置することが、害獣を困らせます！)



1. ワイヤーマッシュ柵 ~すき間対策と補強が肝心です!~

突破されにくいワイヤーマッシュ柵とは・・・

- (1) 設置場所は基本的に平らな地面 (全ての防護柵に共通)
- (2) ワイヤーマッシュの①縦線は害獣が来る側②横線は農地側③柱は農地側に設置
- (3) 地際及びワイヤーマッシュ同士との継ぎ目に隙間が出来ないように設置



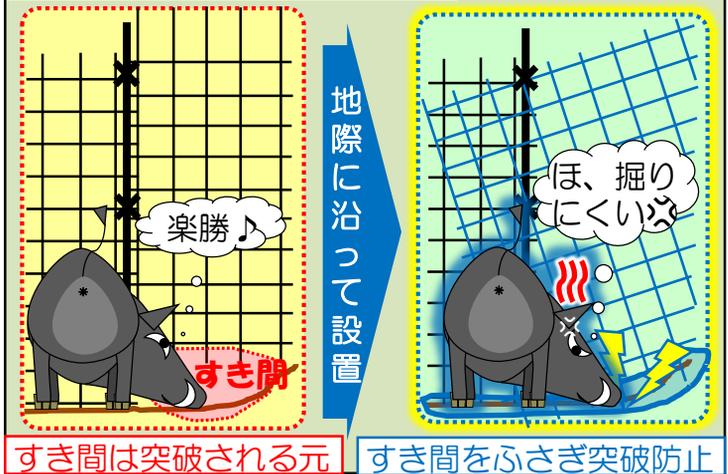
法面等斜面上への設置は不適

法面等斜面上と平らな地面の境は崩れやすいため

- ①すき間が生じ害獣の侵入を招く
- ②柵、柱が不安定で倒れやすい等により不適

- 下った先の平らな地面との境は
- ①斜面が崩れた場合に柵が埋まる
 - ②柵と斜面の間が狭く足場も悪い
ため、草刈や補修が難しい
 - ③害獣が下る勢いで突破する
等によりやはり不適

地際にすき間なし≒被害もなし



補足 補強にならない例



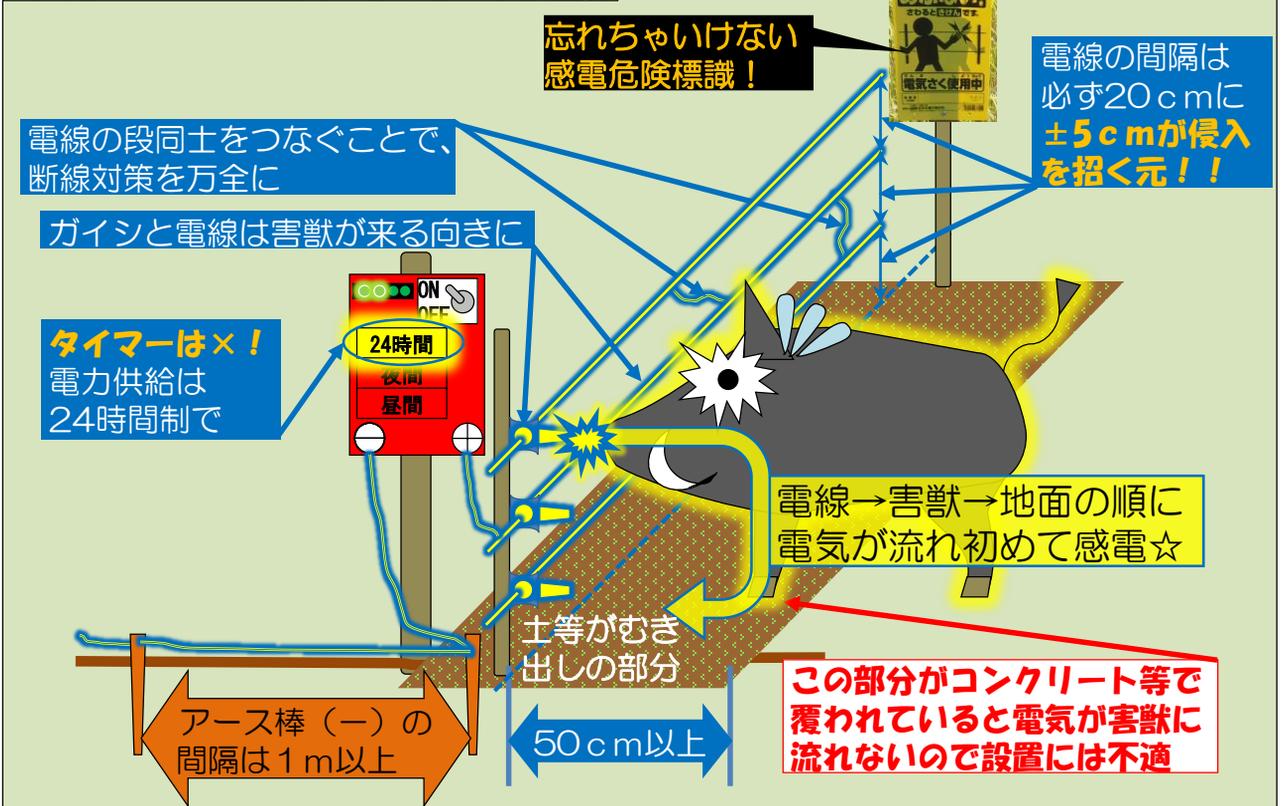
河川沿い等農地の周囲が舗装されている場合は、ワイヤーマッシュを舗装と地面の境に密着させ配置し、害獣から守る対象の農地側から柱で支えることにより、すき間なく丈夫に設置できます。

2. 電気柵 ～感電しなけりゃ「ただのヒモ」です！～

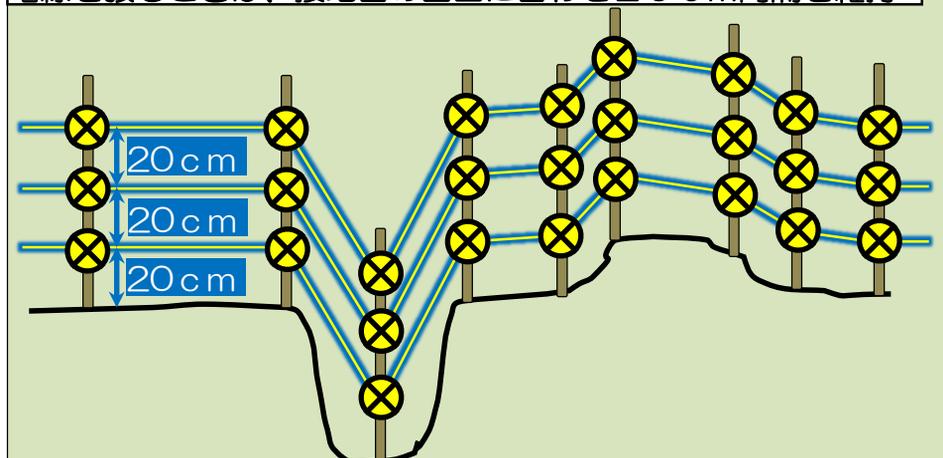
突破されにくい電気柵とは・・・

- (1) 設置場所は基本的に平らな地面（全ての防護柵に共通）
- (2) 電線の地際からの高さ、電線同士の間隔は必ず20cmに
- (3) 柵への電力供給は24時間体制で
- (4) 電気柵沿いの地面は、むき出しの地面または草地
- (5) 電気柵の支柱は凸凹に合わせて設置
- (6) 電圧の目安は3000～4000ボルト！

突破されにくく、確実に感電させる設置例



電線を張るときは、接地面の凸凹に合わせて20cm間隔を維持



- ・電気柵の電線に雑草や木の枝等が触ると漏電により効果が失われます。定期的な草刈、せん定や除草剤の散布また柵周辺の掃除を行い、電線を漏電から守りましょう。
- ・ワイヤーメッシュ柵と同様、法面等斜面際への設置は避けましょう。農地等が斜面の下にある場合は、勢いまかせの突破や（まれに）斜面上からの飛び込み防止、草刈や補修を行いやすくする点に配慮し設置場所及び囲む範囲を検討することが重要です。

※水路は電気柵による防護は困難です。ワイヤーメッシュ等の併用が必要となります。

お問合せ先：大分県中部振興局

農業被害対策

生産流通部（水田畑地、園芸、畜産）電話（代表）097-506-5796

狩猟免許・林業被害対策 農山漁村振興部森林管理班

電話（直通）097-506-5749